



令和8年度

立野だより

令和8年 特別号

京都市立立野小学校

校長 葉山 貴巳



学校教育目標「ともに学び ともに育つ」

3つのキーワード「当たり前のことを当たり前、背伸び、感謝」

確かな学力

この項目は、本校教育活動における「問い」を大切にしたい主体的な学びや、協働的な学びの実現にかかわる内容となります。

			よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
1.	保護者	お子さんが楽しく学校に通えるよう、家庭でも声かけや見守りをしている。	32.7%	65%	2%	0%
	児童	がっこうはたのしい	45%	46%	6%	3%
2.	保護者	参観やノート・テストの様子をもとに、お子さんの学習の理解について関心をもち、家庭で話題にしている。	23%	63%	12%	2%
	児童	めあてにむかってがくしゅうをすすめている。	28%	62%	9%	1%
3.	保護者	お子さんが興味や関心をもって学習に取り組めるよう、家庭で問いかけや働きかけをしている。	18%	63%	18%	1%
	児童	「なぜ？」とおもったことを、じぶんからすすんでしらべたりかんがえたりしている。	26%	49%	23%	2%
4.	保護者	お子さんが自分の考えを表現できるよう、家庭でも話を聞いたり対話を大切にしたりしている。	30%	66%	4%	0%
	児童	じぶんのかんがえをはなしたりかいたりしてまわりのひとにできるだけわかるようにつたえている。	30%	47%	20%	3%
5.	保護者	読書や調べ学習に親しめるよう、家庭で環境づくりや声かけをしている。	14%	50%	35%	1%
	児童	ほんをよんだり、ほんでしらべものをしたりしている。	33%	30%	30%	7%
6.	保護者	家庭学習について、お子さんが計画的に取り組めるよう支援している。	16%	59%	23%	2%
	児童	じぶんでがくしゅうのけいかくをたて、しゅくだいやチャレンジノートなどにとりくんでいる。	41%	41%	15%	3%
7.	保護者	学習におけるGIGA端末の活用について、家庭でもルールや使い方を意識している。	19%	59%	20%	2%
	児童	ギガたんまつがくしゅうするのにやくだてている。	67%	28%	4%	1%
8.	保護者	情報機器の使い方や情報モラルについて、家庭で話し合い、適切に使えるようにしている。	22%	61%	16%	1%
	児童	じょうほうやギガたんまつなどをつかうときのルールやマナーをまもっている。	73%	25%	2%	0%

令和8年度 第1回学校評価アンケートの結果のお知らせ

平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。7月に実施いたしました第1回学校評価アンケートの結果を報告させていただきます。お忙しい中、多くの皆様から（88％）回答をいただくとともに、自由記述欄ではあたたかい励ましや貴重なご意見をたくさんお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。

「学校教育目標（育成を目指す資質・能力）」『立野小学校グランドデザイン』の具体的な重点取組に沿って14項目の質問をさせていただきました。保護者の皆様には、お子さんの様子や家庭での関わりを振り返りながらご回答いただきました。アンケート結果は、学校と家庭が連携し、よりよい教育環境を共に創っていくための大切な資料とさせていただきます。

アンケート項目「1. 楽しく学校に通っている」ことに関する項目は、「よくできている」「大体できている」を合計した肯定的な回答が、児童91％、保護者98％と高い結果でした。

「2. 学習への意欲・授業への理解」に関する項目の肯定的な回答は、児童90％と高く、日々の授業でめあてを意識して学習に取り組む姿勢が定着していることがわかりました。「7. GIGA 端末を学習に役立てている」も前向きな回答が95％と高い結果となり、自分の学びにICTを活用する力が育ってきています。また、保護者アンケートでも「2. 学習について家庭で話題にしている」、「3. 興味や関心をもって学習に取り組めるよう働きかけている」が8割以上となっており、家庭でも子どもの学びを支えようとお協力いただいていることがわかりました。

一方で、「3. なぜと思ったことを自ら調べたり考えたりしている」は75％、「4. 自分の考えを伝えている」は77％にとどまりました。また、「5. 読書への親しみ」に関する項目は63％と、他の項目に比べて低い結果でした。読書は語彙力や表現力、学ぶ力の基盤となります。今後も学校図書館の活用や読書活動の充実を図り、本に親しむ機会を増やしていきたいと考えています。

今後も、子ども自身が問いをもち、調べ、考え、表現する学びをさらに充実するよう努めてまいります。



豊かな心

この項目は、本校教育活動における「充実した特別活動」や、道徳教育の充実、思いやりの心の育成などにかかわる内容です。

			よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
9.	保護者	学校行事や異学年交流について、家庭でも話題にし、お子さんの成長を見守っている。	29%	59%	11%	1%
	児童	なかよしグループでいろいろなぐねときょうりよくしたりかかわったりしている。	58%	38%	3%	1%
10.	保護者	きまりや思いやりの大切さについて、家庭でも話し合い、お子さんの行動につなげている。	32%	65%	3%	0%
	児童	じぶんもまわりのひともたいせつにすることをかんがえて、きまりやよくそくをまもっている。	55%	41%	3%	1%
11.	保護者	友だちや先生についてお子さんと話し、安心して過ごせているか関心をもっている。	43%	54%	3%	0%
	児童	せんせいやともだちにこまったことなどをそうだんしている。	38%	39%	16%	7%
12.	保護者	友だちとの関わりについて、お子さんの気持ちに寄り添いながら、多様性やよさについて話している。	31%	64%	5%	0%
	児童	ともだちひとりひとりのちがいをみとめ、よさをみつけている。	41%	47%	10%	2%

児童アンケートでは、「9. なかよしグループで協力したり関わったりしている」が96%、「12. 友達一人一人の違いを認め、よさを見付けている」が88%でした。保護者アンケートでも、「10. きまりや思いやりについて話している」が97%、「12. 友達との関わりについて多様性やよさを話している」が95%と高い結果でした。

教職員も、きまりや約束のある意味を共に考え、くりかえし丁寧に指導しています。今後も、保護者の皆様と連携しながら、人を大切にする心や思いやりの心、規範意識を育てていきたいと考えています。

「11. 困ったことを先生や友達に相談している」は肯定的な回答が77%でした。安心して相談できる環境づくりをさらに進める必要があります。今後、日常的な対話や教育相談を大切に、誰もが安心して思いを伝えられる学級づくり・学校づくりに努めてまいります。また、異学年活動や人権教育を通して、互いを認め合う関係づくりを継続していきます。



健やかな体

この項目は、本校教育活動における「体力向上」や、健康や安全に関する意識の高揚、食育の充実などにかかわる内容です。

			よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
13.	保護者	交通ルールや安全について、家庭でも日頃から話題にし、意識づけを行っている。	43%	54%	3%	0%
	児童	じぶんやまわりのひとのあんぜんをまもるために、こうつうルールをまもったりひなんくんれんにしんけんにとりくんだりしている。	68%	28%	3%	1%
14.	保護者	食事や運動の大切さについて、家庭で意識し、健康的な生活習慣づくりに努めている。	32%	61%	7%	0%
	児童	しょくじやうんどうのたいせつさをしり、けんこうにきをつけたたり、うんどうにしたしんだりしている。	56%	36%	7%	1%

児童アンケートでは、「13. 交通ルールや避難訓練に真剣に取り組んでいる」の項目の肯定的な回答が96%、「14. 健康に気を付けたり運動に親しんだりしている」が92%となりました。保護者アンケートでも、同項目について9割以上と、肯定的な回答が多く、安全意識や健康への関心については、学校と家庭が同じ方向を向いて取り組めていることが分かりました。

健康や体力づくりについては高い結果ではあるものの、学習や心の成長と比べると子どもが主体的に考えて行動する段階までは十分とは言えません。生活リズムや運動習慣には個人差も見られます。安全教育を継続するとともに、「なぜ健康が大切なのか」を子ども自身が考え、自ら健康づくりに取り組む力を育てていきます。また、家庭とも連携しながら望ましい生活習慣の定着を図っていくよう努めてまいります。



地域の方々にも回答いただきました。学校教育や地域との連携についてあたたかい肯定的な評価をしていただきました。一方、日頃の子どものための挨拶については、課題が見られるのではないかとご意見も頂戴しています。学校でも、自分から気持ちのよい挨拶ができる子どもたちを育てていくよう、今後とも努めてまいります。

